

# 日本ウマ科学会 2020年度 第1回常任理事会議事録

日 時：2021年11月12日（金）13：30～：

場 所：日本装蹄協会 （JRA 新橋分館 4階会議室）

出席者： 青木 会長  
田谷 副会長  
和田 副会長  
高橋 庶務担当常任理事  
半澤 会計担当常任理事  
楠瀬 編集担当常任理事  
桑原 国際担当常任理事  
近藤 学術担当常任理事  
和田 広報担当常任理事  
小野 事務局長

議題：

1. 2021年度事業報告（案）
2. 2021年収支決算（案）および 2021年監事監査報告
3. 2022年度事業計画（案）
4. 2022年収支予算（案）
5. 役員の変更について
6. ICEEPの立候補について

議事概要：

冒頭、青木修会長より挨拶があり、会長の進行で、会議は「2021年度理事会・評議員会・定時総会 資料（案）」に基づき「第1回常任理事会 補足資料」を交えて、事務局が説明する形式で実施された。

議題1.

事務局より「2021年度理事会・評議員会・定時総会 資料（案）」に基づき事業報告案の説明があり、常任理事により承諾された。

主な説明点は以下のとおり。

- 本好茂一名誉会長、吉田仁夫名誉会員の訃報を受け、名誉会長は空席、名誉会員は1名減。

- 正会員はわずかに減少しているようにみえるが、2022 年度入会の会員を前年度から五月雨式に加えるのではなく、11 月 1 日付入会としたため、30 人が 1 日付で入会している。
- 賛助会員はゾエティス・ジャパン様が加わり 20 社となった。
- 馬用語集の編集委員に委嘱状を送付した。
- 国際交流促進事業（海外支援事業）へ数年ぶりに応募があったが、オンライン開催となったため支援はなかった。

## 議題 2.

事務局より「2021 年度理事会・評議員会・定時総会 資料（案）」に基づき収支決算報告案の説明があり、常任理事により承諾された。

また、説明の後、この内容で午前中に監事監査が実施され問題ないと報告があったことが、半澤会計担当常任理事より報告された。

主な説明点は以下のとおり。

- 正会員会費収入は、834 名分で海外会員 1 名も国内で手続きを行ったためその人数に含んでいる。
- 賛助会員 1 社は 2020 年度分として。アイペック社が 2 口。2 社は未納。
- 学術集会参加費収入がないのは、第 33 回学術集会が無料実施のため。
- 企業展示収入がないのは、第 33 回学術集会がオンライン開催であったため企業展示は実施していないため。
- 著者負担金は、論文掲載の超過ページ分にあたる。
- 本年の年会費から始まったコンビニ郵便局払いの手数料負担については、管理費支出の通信連絡費の一部に含まれるが予算内に収まっている。
- 備品費の用途は、講演会用の液晶プロジェクターの更新に充てた。
- 学術集会事業費支出の大会開催費は第 33 回学術集会の学会賞表彰式撮影費用および第 34 回学術集会の会場キャンセル費用。学会開催規模の会場の事前予約は必須でありキャンセル料はやむを得ないと各常任理事は承認。
- 臨床委員会事業費支出のセミナー開催費は第 34 回学術集会特別講演の動画の翻訳および字幕作成費用。
- 認定馬臨床獣医師制度会計において、第 2 回の試験に 6 名受験するため入金があった。また、試験の経費算出が終わっていないため支出はなかった。

## 議題 3

事務局より「2021 年度理事会・評議員会・定時総会 資料（案）」に基づき事業予定案の説明があり、常任理事により承諾された。

主な説明点は以下のとおり。

- 学会賞・奨励賞の表彰対象者なし。
- 馬用語集は 2023 年の発刊を目指す。
- 臨床委員会企画の特別公演は Dr.Nielsen による寄生虫に関する講演を動画で行う。質疑応答はコーディネーターが講演者に行う形で実施。
- 認定馬臨床獣医師第 2 回認定試験は 2021 年 11 月 22 日（月）に実施。6 名の受験者。第 3 回は 2022 年 11 月 29 日（月）を予定。

#### 議題 4

事務局より「2021 年度理事会・評議員会・定時総会 資料（案）」に基づき収支予算案の説明があり、常任理事により承諾された。

主な説明点は以下のとおり。

- 会費収入の正会員の数は現時点の 95%で算出。
- 企業展示収入は、本年もオンライン開催で実施しないため計上しない。
- 広報費はセキュリティ費用が増額されるため予算額増とした。
- 会議費には、本年から Zoom の契約費用およびレンタル WiFi 費用を含んでいる。
- 出版刊行事業費支出は原油高の影響から紙代、運送コストなどの増額が見込まれるため昨年支出が抑えられていたが変更なしとする。
- 大会開催費については、第 34 回学術集会に伴う撮影費用と HP 管理費用に相当する。
- 臨床委員会事業費支出については、第 35 回の講師交通費およびセミナー準備費用を事前払いする必要がある可能性があるため 2022 年度予算に計上している。
- 認定馬臨床獣医師制度会計の受検者収入は 16 名の受験を見込んでいる。

#### 議題 5

役員改選について、事務局案が提示され、会長、副会長、常任理事、理事、監事、事務局長、評議員の改選が常任理事に承認された。また、役員名簿には新任の役員が明示されるよう申し添えられた。

日本ウマ科学会学術委員会規程の改定が提案された。学術委員の定員を 10 名から 12 名に改定するもので承認された。即日、施行することとした。

#### 議題 6

前回常任理事会で決定した ICEEP の立候補について、理事会での確認事項が話し合われ、常任理事会で決定した方針を決議することとなった。また、通常総会ではその決定した方針を資料にて明示することとなった。

(15:50 終了)